

「大学図書館のミッションと機関リポジトリ」

～ 環日本海域からの情報発信 ～



新潟大学学術リポジトリ

と



新潟県地域共同リポジトリ

新潟大学の機関リポジトリの取組み

平成22年2月18日



新潟大学附属図書館

/学術情報部 高橋 昌子

目 次

- 新潟大学の機関リポジトリ
- 新潟大学の中期目標・中期計画(1)～(2)
- 新潟大学学術リポジトリ(Nuar)の広報(1)～(2)
 - リポジトリが欲しい?!
- 新潟大学学術リポジトリ(Nuar)の登録状況(1)～(2)
- 新潟県地域共同リポジトリ(NiRR)の広報
 - 日本の機関リポジトリの推進状況
 - 共同リポジトリの必要性(1)～(2)
- 新潟県地域共同リポジトリ(NiRR)の特色
- 新潟県地域共同リポジトリ(NiRR)の登録状況(1)～(2)
- 新潟大学の機関リポジトリの取組み





新潟大学の機関リポジトリ



新潟大学学術リポジトリ

Naur(ニューアー): Niigata University Academic Repository (URL: <http://repository.lib.niigata-u.ac.jp/>)

- 平成18年度
国立情報学研究所(NII)の「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」(CSI委託事業)領域1に採択され、構築開始。
- 平成19年5月15日 試験公開。
- 平成19年5月17日 運用開始。



新潟県地域共同リポジトリ

NiRR(ニール): Niigata Regional Repository (URL: <http://nirr.lib.niigata-u.ac.jp/>)

- 平成20年度
国立情報学研究所(NII)の「学術機関リポジトリ構築連携支援事業」(CSI委託事業)領域1に、「新潟大学学術リポジトリ」の業務計画の一環として、独自で機関リポジトリの構築が困難な機関に対し、機関リポジトリ(地域共同リポジトリ)への搭載支援を計画し、採択され、構築開始。
- 平成21年4月22日 試験公開。
- 平成21年7月8日
新潟県大学図書館協議会総会で承認され、運用開始。同協議会に「共同リポジトリ部会」が設置され、新潟大学附属図書館は、部会長館となる。



新潟大学の中期目標・中期計画(1)

■ 第2期中期目標・中期計画（平成22年度～平成27年度）

国立大学法人は、平成16年度以降「国立大学法人法」により、文部科学大臣が定める6年間の中期目標に基づき、中期計画及び年度計画を策定することが義務付けられている。

また、国立大学法人評価と「学校教育法」による認証評価の二つの評価を受けることとされている。

※ 国立大学法人評価の結果は、国からの運営費交付金額に反映される。

■ 「国立大学法人の中期目標及び中期計画の素案についての意見」の「各法人の基本的な目標等と主な取組」

平成21年11月 国立大学法人評価委員会総会（第30回）

- ・ 「主な取組」（中期計画本文から、中期目標を達成するための具体的な措置を記載。）

「新潟大学学術リポジトリ」をインターネットで配信

※ 機関リポジトリについて記載されたのは、新潟大学のみ。



新潟大学の中期目標・中期計画(2)

■ 第2期中期目標

- 地域へのまなざしを持って活動する大学として、教育研究成果を地域に還元し、地域との連携協力を推進する。

■ 第2期中期計画

- 大学の教育研究活動の成果を社会に還元するために、それらの成果や所有する貴重資料等の学術資料を「新潟大学学術リポジトリ」として電子データ化して、インターネットで学内外に発信する。
 - ・ 学術研究の振興及び地域への還元を推進。
 - ・ 学術研究成果に加えて、大学の活動記録集や教育資料、図書館で所有する貴重資料を新たに登録し、発信。

- 各学部・研究科の教授会等16ヶ所で説明会(18年度)
 - 専門用語を使わず, 各学部等に合わせて内容を変え, メリットを具体的に説明。
 - ・ 電子ジャーナルの購読数が多いから, フルテキストを読めるが, 購読数の少ない研究機関・医療機関等の研究者は, 読めない。
(医歯学系: Pub Med, CINAHL, 医中誌Web, メディカルオンラインなど具体的に説明。)
 - ⇒ 医学部医学科: 医局での説明会を要請される。
医学部保健学科:
「とてもわかりやすい説明でした。」の言葉とともに, 先生方が拍手。
 - ・ 公開条件等はあるが, 出版社版PDFの登載を許諾している学会が多い。(事前に, 各学部等所属教員の所属学会を調べる。)
(自然科学系: APS(米国物理学会), AIP(米国物理協会), IEEE(電気電子学会), 日本機械学会, 電子情報通信学会, 情報処理学会など。)
 - ⇒ 工学部: 説明会の翌日, 図書館に一人で85件持込んだ教員あり。
 - ・ 市民対象の公開講座が人気。(人文社会・教育科学系, 医歯学系)

■ 新潟大学新採用職員研修プログラム(19年度～)

- 新採用職員に対して、本学職員としての基礎的な知識及び事務手続等について理解させ、日常業務を円滑に遂行させることを目的とする。

- 事務系職員が採用される都度、事務局各部の実務担当者(係長級)が、新採用職員が所属部署に配置後、日常業務を円滑に遂行するための基礎知識、実務、事務手続等について、説明する。

※ 附属図書館事務部が改編され、平成18年4月から事務局の学術情報部となった。
学術リポジトリの運用開始により、平成19年8月から附属図書館も講義を依頼された。
新潟県内国立大学法人等新採用職員研修は、毎年5月下旬頃に開催される。

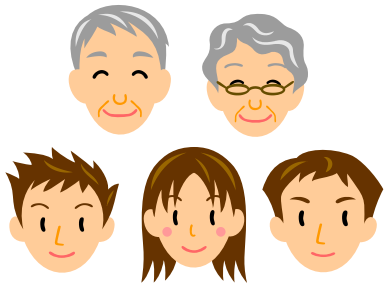
- 各講義ごとに受講内容についてレポート(400字原稿用紙1枚程度)を作成する。

⇒ 図書館担当の講義時間に、各担当者が業務や図書館活用法などの説明も行うが、
受講者のレポートの記載内容のほとんどが、学術リポジトリに関する称賛の内容。

⇒ 事務局内での学術リポジトリに対する認知度、評価が向上。

リポジトリが欲しい?!

誰のため?



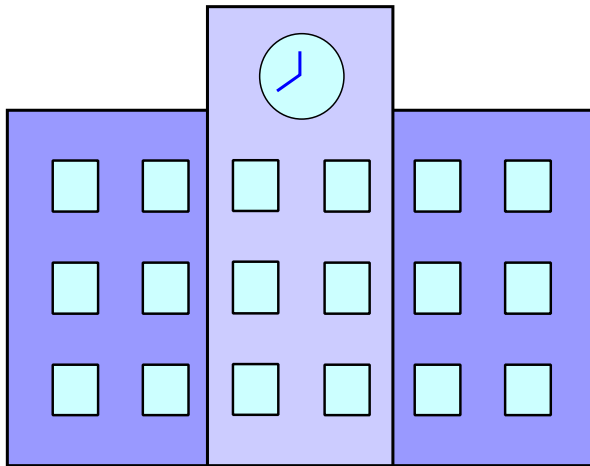
地域の企業や
市民の方々



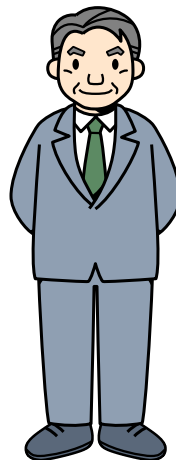
国



受験生



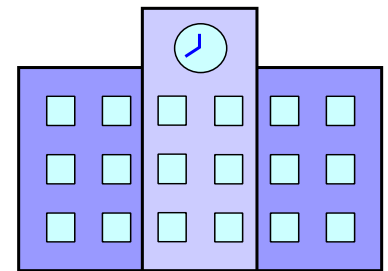
大規模大学



研究者

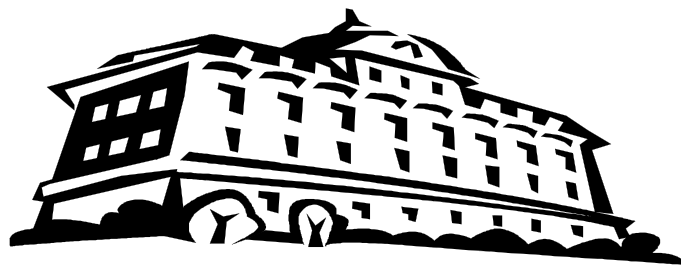


研究者



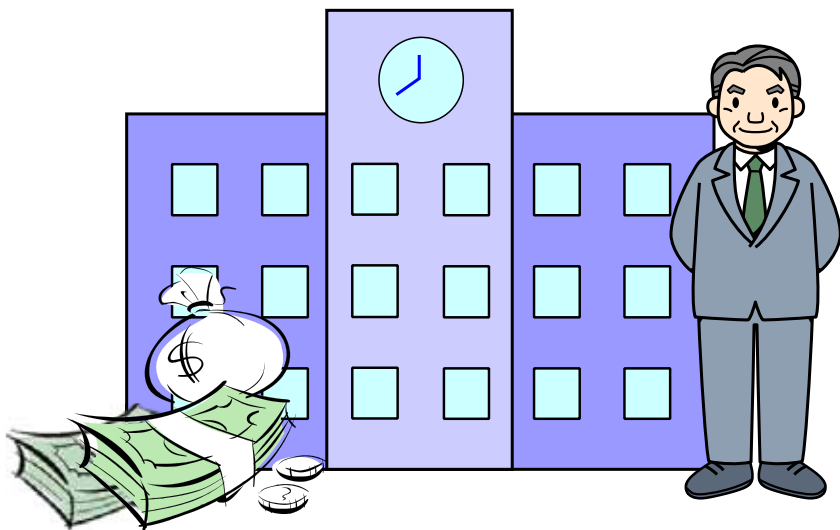
小規模大学

寡占化が進む
商業出版社

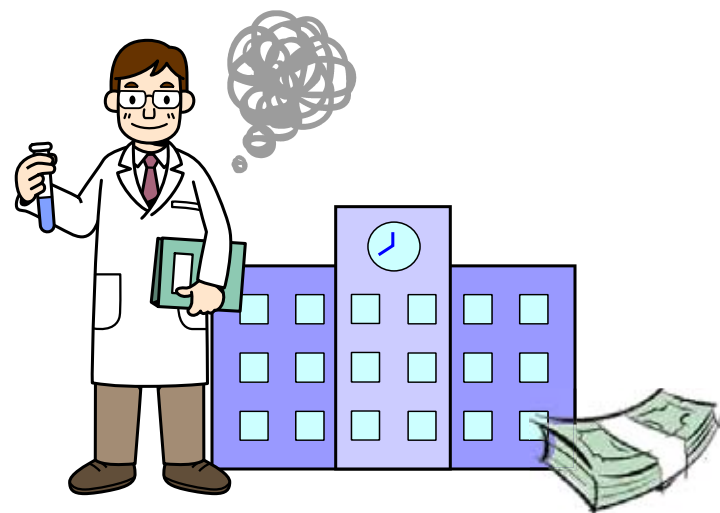


高額な電子ジャーナル購読料！

論文が読みたい！電子ジャーナルを購読したい！

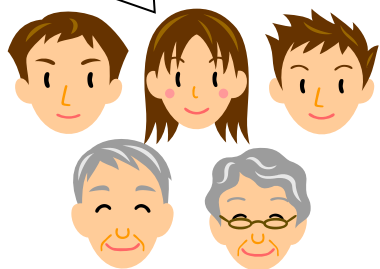


電子ジャーナルは、購読できるが、
論文を読んでもらえない。



電子ジャーナルを購読できない。
論文が読めない。

最新の研究成果を知ることができて、産学連携に役立つ！



地域の企業や
市民の方々

新潟県関連
の資料を入手できる！

リポジトリが欲しい!!



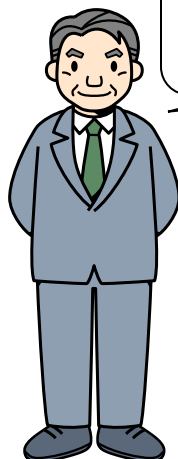
新潟大学学術リポジトリ

大学の特色がわかる！



受験生

論文が
読んでもらえる！

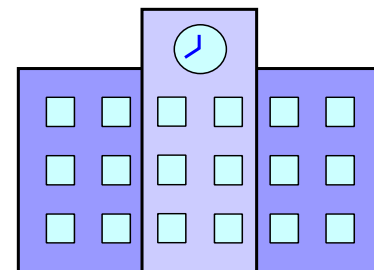


研究者

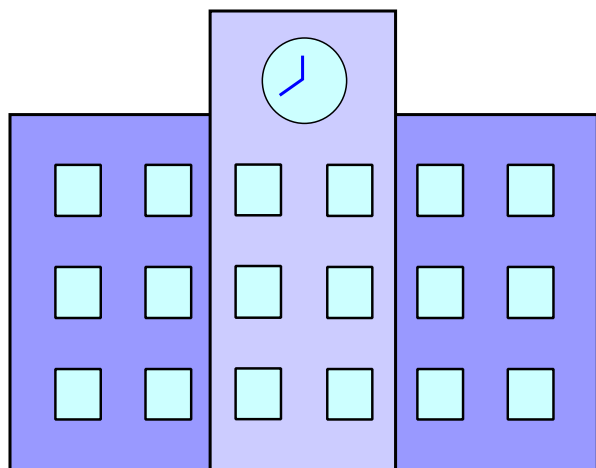
無料で、
論文が読める！



研究者



小規模大学



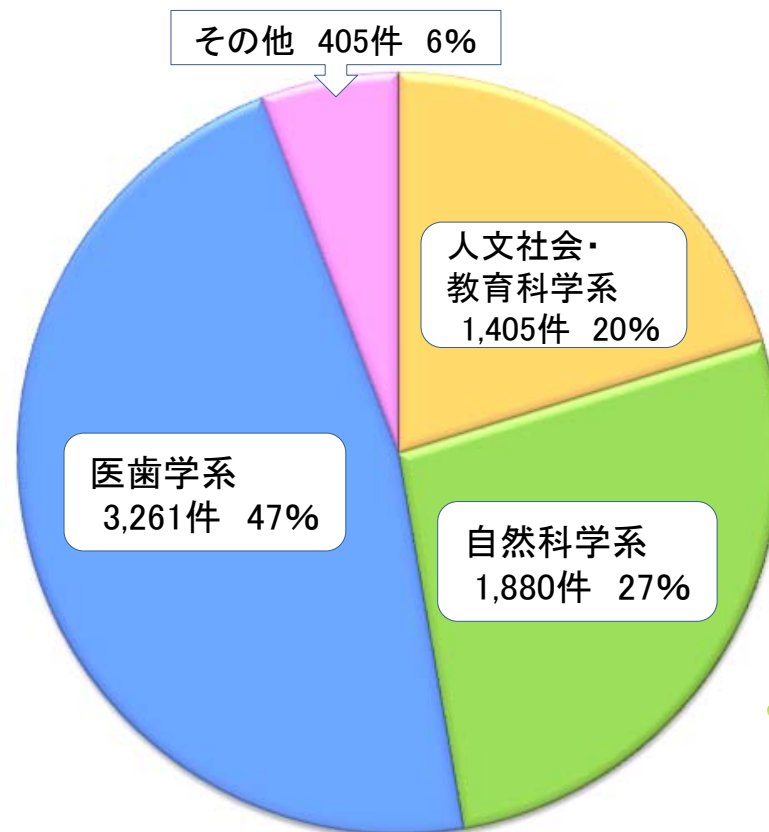
大規模大学

引用率
UP！

の登録状況(1)

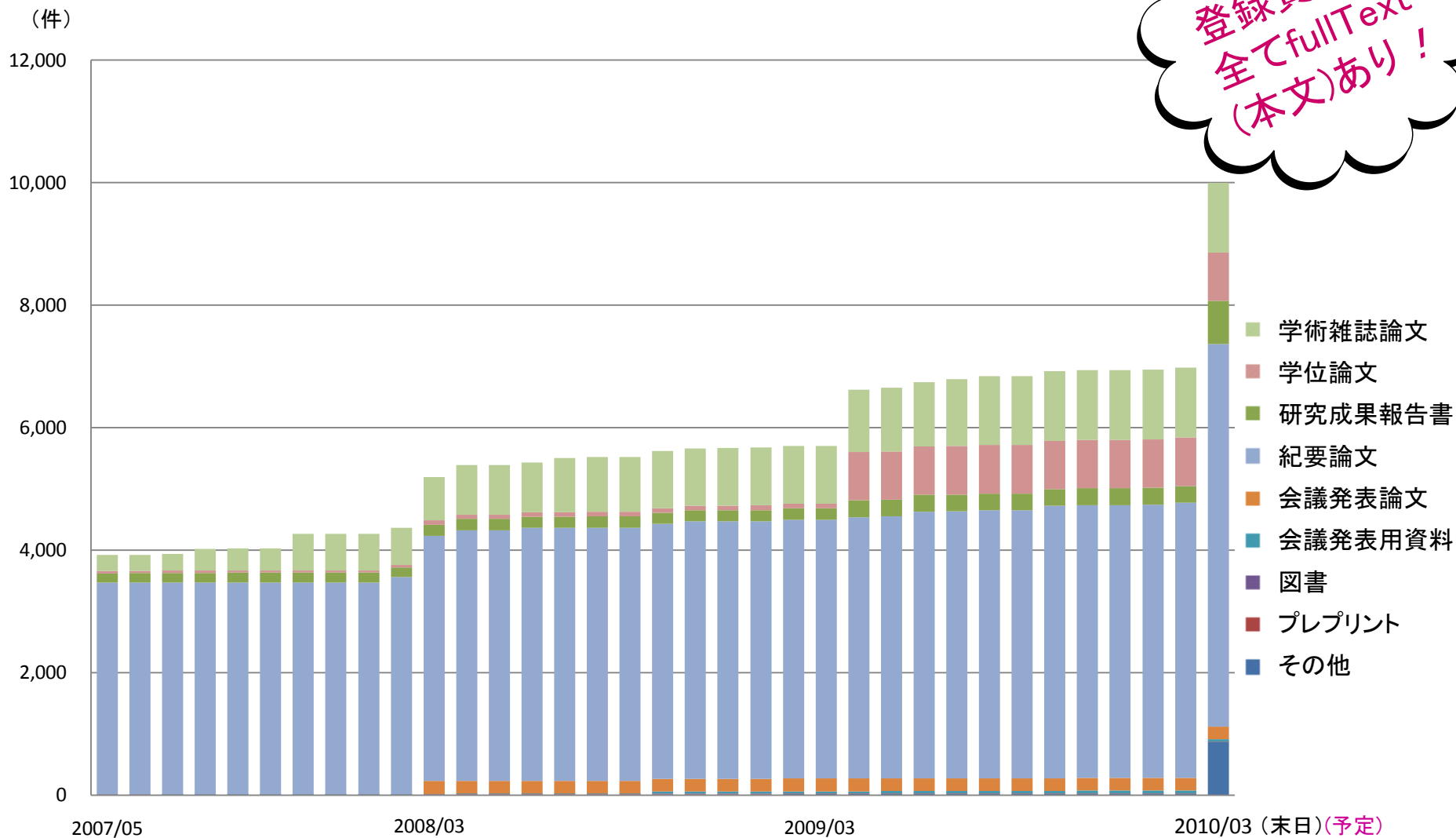
平成19年5月17日に、3,782件の学術研究成果等を登録して運用を開始した新潟大学学術リポジトリ(Nuar)も、日々登録を重ね、**平成22年2月1日現在**、下記のような登録状況となっています。

種 別	件 数
学術雑誌論文(海外)	513
学術雑誌論文(国内)	627
学位論文	789
研究成果報告書	276
紀要論文	4,466
会議発表論文	207
会議発表用資料	43
図書	3
プレプリント	7
その他	20
合 計	6,951



の登録状況(2)

登録資料は
全てfullText
(本文)あり！



※ 2月・3月下旬に追加登録するが、IRDBコンテンツ分析システムのハーベストの関係で、「IRDBコンテンツ分析」は、次月末日現在として反映される予定。

■ 研修会・説明会


- 新潟県内の大学において機関リポジトリ説明会
 - ・ 役職者・教員対象 2回, 図書館職員対象 3回
- 新潟県大学図書館協議会研修会
 - ・ 平成20年度・21年度
機関リポジトリ・地域共同リポジトリに関する研修

■ DRF/Share-Yamagata

DRF/Share地域ワークショップ(北海道・東北地区)

- ・ 研究者へのアプローチ(模擬説明会) 講師
- ・ 共同リポジトリプロジェクト紹介 報告



	平成21年7月	参加機関 9, 登録機関 4	(運用開始日)
	22年1月	参加機関 14, 登録機関 4	
	22年3月	参加機関 14, 登録機関 8	(予定)

日本の機関リポジトリの推進状況

■ 機関リポジトリの推進

大学は我が国の多くの研究資源を有する機関であり、その研究成果等を積極的に発信することは学内の教育研究活動を活性化させるだけでなく、我が国の学術情報の円滑な流通や社会貢献の観点からも重要である。

各大学は、学協会との連携を図りつつ、機関リポジトリに積極的に取り組む必要がある。その場合、大学図書館は機関リポジトリの構築・運用に中心的な役割を果たすことが期待される。

学術情報基盤の今後の在り方について(報告)
(平成18年3月科学技術・学術審議会学術分科会)

共同リポジトリの必要性(1)

■ オープンアクセスを推進するために必要な取組と課題

科学研究費補助金などの公的資金の助成を受けて展開された研究の成果については、社会的な透明性や説明責任を確保する観点からも、国民が等しく、ひいては世界中からアクセスが可能となるよう、オープンアクセスをより強く進めていく必要がある。

欧米では研究助成機関による助成を受けた研究成果のオープンアクセスを義務化する動きもあるところであり、我が国においても研究成果となる学術論文等のオープンアクセスの義務化も含めた対応の強化に向けた検討が必要である。

大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)
(平成21年7月科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会)

共同リポジトリの必要性(2)

■ 機関リポジトリの今後の在り方と課題

個別の大学等によっては、事務体制や技術的な問題等により、独自でリポジトリの構築・運用を行うことが難しい機関もある。

こうした機関に対して、各機関が共通利用できる共用リポジトリのシステムを構築することにより、リポジトリへのコンテンツの登載や公開が容易になるような仕組みを早急に検討する必要がある。

大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)
(平成21年7月科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会)

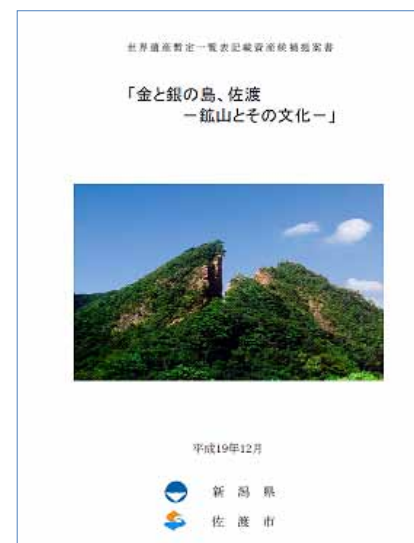
■ 佐渡金銀山関連資料の発信

新潟大学附属図書館は、佐渡市教育委員会『佐渡学センター』と協力関係にあり、佐渡の世界遺産登録運動を支援している。

世界遺産への登録は、国内でのアピールのみでは実現が難しいため、全世界の人々に理解が得られるように、新潟県地域共同リポジトリに登録し、世界に向けて発信、アピールを行う。

- 「金と銀の島，佐渡 一鉱山とその文化ー」
（新潟県と佐渡市が平成19年12月に提案した
「世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書」）
（和文・英文）
- 佐渡金銀山遺跡調査報告書
- 埋蔵文化財調査報告

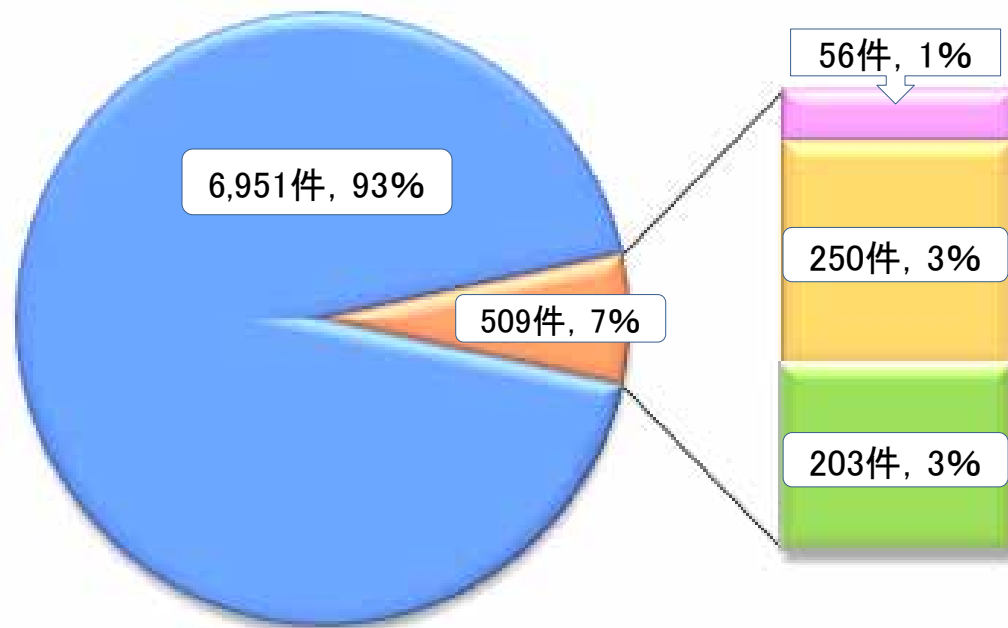
ほか多数



の登録状況(1)

平成21年7月8日に、7,140件の学術研究成果等を登録して運用を開始した新潟県地域共同リポジトリ(NiRR)は、**平成22年2月1日現在**、下記のような登録状況となっています。

種 別	件 数
学術雑誌論文(海外)	571
学術雑誌論文(国内)	771
学位論文	789
研究成果報告書	276
紀要論文	4,771
会議発表論文	207
会議発表用資料	45
図書	3
プレプリント	7
その他	20
合 計	7,460



■ 新潟大学

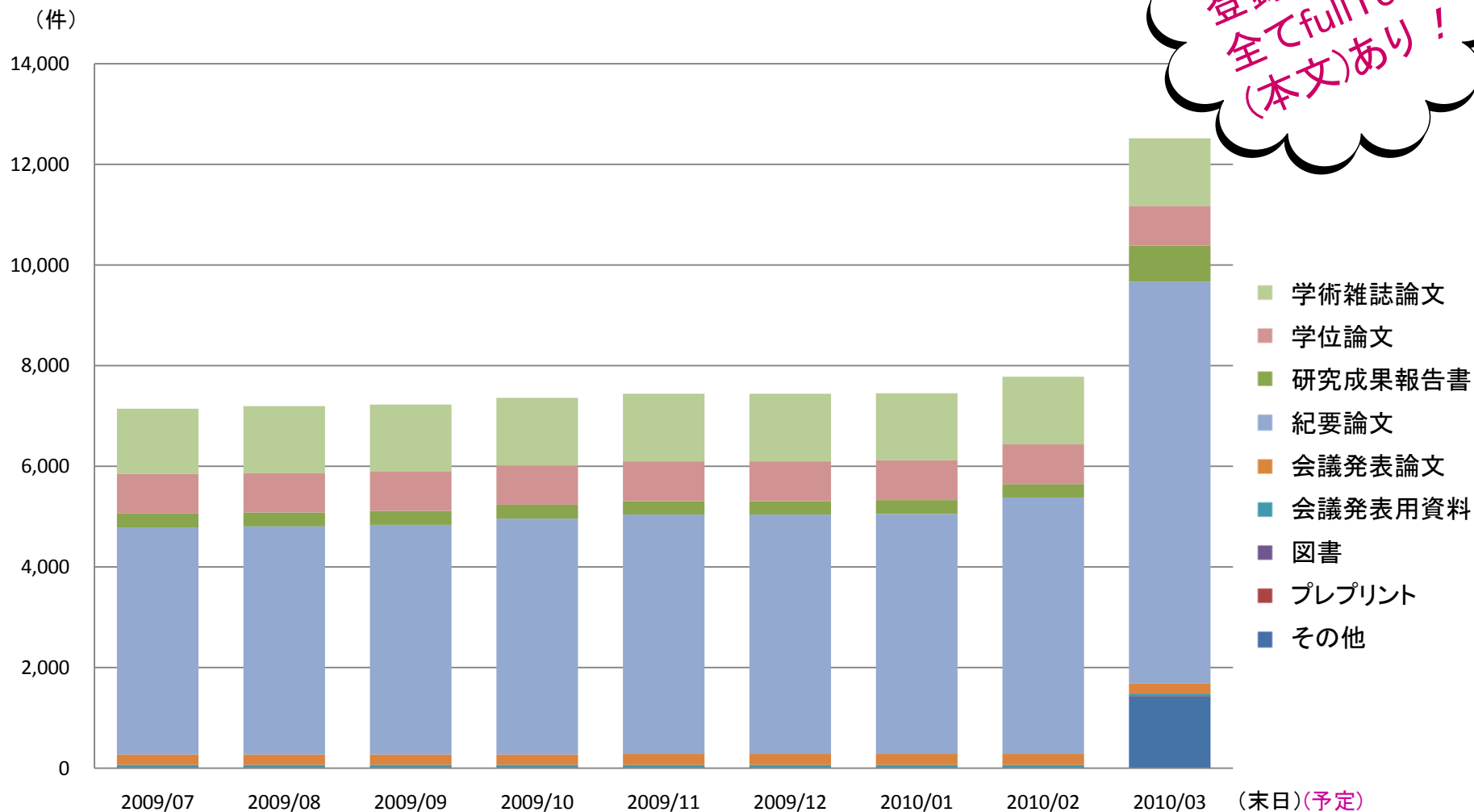
■ 新潟青陵大学

■ 長岡工業高等専門学校

■ 新潟医療福祉大学

の登録状況(2)

登録資料は
全てfullText
(本文)あり！



※ 2月・3月下旬に追加登録するが、IRDBコンテンツ分析システムのハーベストの関係で、「IRDBコンテンツ分析」は、次月末日現在として反映される予定。



新潟大学の機関リポジトリの取組み

広く社会の発展に寄与するために
新潟大学は学術情報を発信し続けます



環日本海地域における学術情報流通拠点として